

林野庁 プレスリリース

Calendar

8
August

8月4日	<2011 国際森林年関連事業> 「第10回聞き書き甲子園研修会 開講式」の開催 及び開講式の聴講について
8月5日	篠原農林水産副大臣の国内出張について ～放射性物質による汚染の現状と課題把握及び 海岸防災林の再生に向けた現状把握～
8月8日	「第6回日中林業担当局庁の長による定期対話」の 開催について
8月9日	<2011 国際森林年関連事業>「市民と森林をつなぐ 国際森林年の集い in 北海道紋別市」の開催について
8月10日	<2011 国際森林年関連事業> 「グリーンウェイブ2011」の実施結果について
8月11日	「平成22年度森林病虫害被害量実績」について
8月17日	鹿野農林水産大臣の国内出張について ～現地被害状況の視察～
8月19日	東日本大震災について～ 「東北地方太平洋沖地震復旧復興に向けた合板需給 情報交換会(第5回)」の開催について～
8月24日	「第6回日中林業担当局庁の長による定期対話」の 結果概要について
8月24日	「普及事業の見直し結果」の公表について
8月25日	違法伐採対策に関する日中覚書の署名について

9月2日に発足した野田内閣における農林水産省の新政務三役が
決まりました。

■農林水産省新政務三役



かの みちこ
鹿野 道彦
農林水産大臣(再任)

つづい のぶたか
筒井 信隆
副大臣(再任)

いわた とつかさ
岩本 司
副大臣

もりもと てつお
森本 哲生
大臣政務官

なかの ひろこ
仲野 博子
大臣政務官

林野庁 一口メモ

第10回

聞き書き甲子園研修会の開催

「聞き書き甲子園」は、全国の高校生が、森や海・川とともに生きる知恵や技を持つ「名手・名人」を訪ね、その知恵や技を「聞き書き」し、記録する活動で、今年で10回を数えます。

今年の参加高校生70名が集まる研修会の開講式が、8月11日、東京都現代美術館講堂で行われました。

今回は、スタジオジブリの男鹿和雄監督作品や「聞き書き甲子園」を描いたドキュメンタリー映画『森聞き』を上映したほか、『いとうせいこう GREEN FESTA』(文化放送)の公開収録を兼ねたトークイベントが開催されました。

開講式の後、参加高校生は高尾の研修施設へ移動し、2泊3日の行程で「聞き書き」の実習などを受けました。秋からは、各自が直接「名手・名人」への取材を行い、聞き書き作品の完成を目指します。



トークイベントの様子



聞き書き実習中の参加高校生

国際森林年記念シリーズ⑨

「森の恵み」

「森の恵み」というと、水、木材、きのこ、木の実、葉草や葉の原料、森林セラピー等あげればきりがありません。私たちが食す川魚や沿岸部に生息する魚、養殖漁業にも森が大きく関わっています。『森は海の恋人』と言われるように、森の栄養分が川や海に流れ込み、良い漁場をつくることは一般的に知られています。

『魚つき林』という森林をご存じでしょうか?当然ここからも栄養分が供給されますが、その効果と併せて、川(海)沿いにある森林には、水面に投影される暗影が水中の魚の視野を刺激しない程度に静穏な環境をつくり、水温の上昇を抑えたりする効果があると考えられています。保安林の中には、この役割を目的とした『魚つき保安林』が設けられており、全国で約58千haが設定されています。これも「森の恵み」の1つです。



魚つき保安林



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。